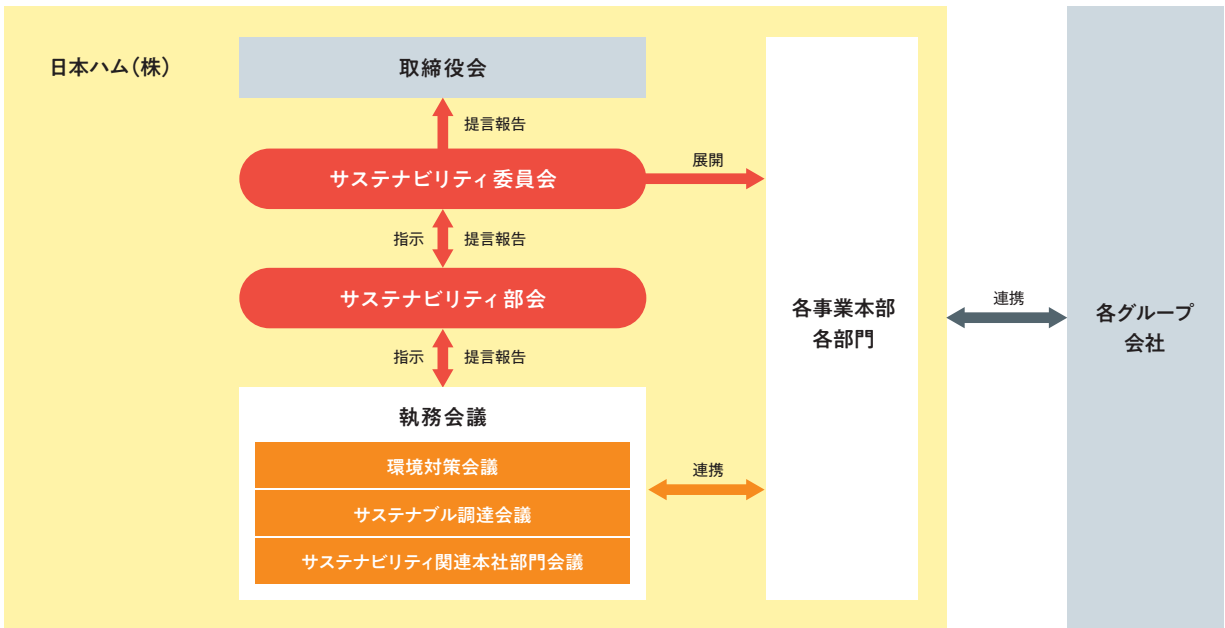


ニッポンハムグループの

サステナビリティ推進体制

ニッポンハムグループは、日本ハム(株)の取締役会を委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置しています。同委員会は原則として四半期に1回開催しており、ESGに関する知見をお持ちの社外有識者や社外取締役からの意見を伺いながら、サステナビリティに関する方針、戦略の策定、グループ各社の取り組み状況の確認などを行います。その内容をまとめ、決定機関である取締役会に諮っています。下部組織であるサステナビリティ部会は、委員会で話し合われた戦略を具体化し、事業本部の施策に展開しています。環境対策、サステナブル調達、本社の間接部門を中心とするサステナビリティ関連情報の共有は、執務会議を設置し対応しています。

サステナビリティ推進体制図



組織体ごとの活動

組織体	役割	構成	開催予定
サステナビリティ委員会	グループのサステナビリティに関する方針の策定、戦略の検討	- 取締役 - 社外取締役 - 事業本部長 - 監査役・社外有識者	年4回
サステナビリティ部会	上位経営会議で決定された戦略を事業部、グループ各社へ落とし込み	- サステナビリティ担当取締役 - 各事業統括部長 - 関係部署部長	年4回
執務会議	環境対策会議	- 環境方針に基づく重点テーマの議論・提言 - 中長期環境目標の管理 - 環境情報関連開示規制への対応(TCFD、TNFDなど)	関係部署部長および担当者 年10回
	サステナブル調達会議	調達活動の持続可能性およびサステナブル調達の実効性向上	関係部署管理職および担当者 年7回
	サステナビリティ関連本社部門会議	- 事業のリスク予防やレジリエントな体制構築のためのコーポレート関係部署間での情報共有 - 人権デュー・ディリジェンスの対応	コーポレート関連部署 年5回